

平成11年9月18日

日本分析化学会 高分子分析研究懇談会各位殿

日本分析化学会 高分子分析研究懇談会  
会長 森 定雄

### 第302 回例会開催案内

貴社ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。第302回の例会を下記のように開催いたします。是非、御出席下さいますように御案内申し上げます。

また、先になりますますが、第303回例会の日程は12月10日(金)です。あらかじめ、御予定いただけますれば幸甚です。

#### 記

#### 1. 日時

10月15日(金) 13:30~17:00

場所: 郵政省簡易保険会館「ゆうほうと」  
(JR五反田下車5分、☎03-3490-5111)

#### 2. 内容: 講演

● 13:30~14:25

「HCFC225 を用いたサイズ排除クロマトグラフィー」

(旭硝子) 伊勢村次秀氏

オゾン層問題からCFC113は製造が中止されているが、その代替フロンとして開発されたHCFC225 (CF<sub>2</sub>ClCF<sub>2</sub>CF<sub>2</sub>CFHCl 等)のSEC移動相としての応用について述べる。代替フロン開発の背景、HCFC225 の特徴、それらを用いた各種フッ素系高分子化合物のSEC測定法のほか、ナイロン、PETなど HFIP を用いたSEC測定法とも関連付けながら、HCFC225 の特徴を活かした分析法を紹介したい。(講師からのメッセージ)

● 14:35~15:30

「SEC/FTIR による組成分布解析」

(三菱化学) 後藤幸孝氏

SEC/FTIR は共重合体の組成分布を求める一つの手法である。インターフェースの考え方や解析に対する考え方を、他の手法とも対比しながら紹介したい。

(講師からのメッセージ)

● 15:45~16:40

「分岐・架橋高分子の構造形成過程とGPCによる分子量分布のシミュレーション解析」

(福井大学) 飛田英孝氏

分岐・架橋・分解などを含む複雑な重合反応系において、反応メカニズムに基づいて、非線状高分子の構造形成過程を計算機によりシミュレーションする手法を紹介する。さらに、得られた高分子構造に関する情報に基づいて、GPC法により得られる分子量分布を推定する方法を提案する。(講師からのメッセージ)

#### 3. 出欠申込

同封の用紙に出欠等を御記入の上、10月12日(火)着でお送り下さい。

以上